

災害時、薬剤師の役割は？

秋の気配が少しずつ深まり、朝夕に心地よい風を感じる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

今月号3面の岩瀬晃子・松阪地区薬剤師会会長の話でも話題になっているように、地震や大雨などの災害で、いざ避難することになった時、普段飲んでいる薬を持ち出す

せないことがあるかもしれません。

いつもの薬局や病院が機能しなくなったり、薬を持ち出せなかったりすることがあります。そんなときは医療救護所が設置され、医療を受けることができるようになります。

その時、薬に関することを支えるのは薬剤師です。薬剤師は救護所に薬を運ぶ役割を担います。

さらに災害時は、お薬手帳や持ち込んだ薬などを確認しながら、どのような薬を飲んでいいのか、どのくらい必要なのかを確認します。

また、薬の重複や飲み

合わせにも注意しながら、安全に薬を使用できるようにお手伝いします。

特に高血圧や糖尿病など慢性疾患の薬を毎日飲んでいられる方にとって、薬を続けることはとても大



切です。避難生活では食事や睡眠、排便など生活リズムも変わるため、普段とは違う体調の変化が起こることもあり得ます。

災害時も薬剤師は「薬

を渡す」だけではありません。皆さんが少しでも安心して薬を使い、健康を守るよう、薬の専門家として寄り添います。

岩瀬会長もおっしゃられています。普段にも慌てないように、普段から自分が飲んでい

る薬について知っておくこと、お薬手帳を利用すること、薬の余裕を少し持つことなども、大切な災害への備えの一つです。

豊穣（ほうじょう）の
（薬剤師 西 美香）

▼6面「脳トレ②漢字の読み書き」の答え①①のうこん②つうこん③俗説④敏感▼「脳トレ③虫食い漢字」の答え①和②風③和風